

# 市議会だより

## 交通事故抑止と飲酒運転撲滅に関する決議

交通事故のない安全で安心なまちの実現は、市民共通の切実な願いである。

昨今の交通事故による死傷者数は、危険運転致死傷罪の新設や飲酒運転の罰則の強化などを背景に、全国的にみると減少傾向にある。

しかしながら佐倉警察署管内における、本年の交通死亡事故6件のうち、5件が本市内で発生しているという極めて憂慮すべき現状にあり、とりわけ、悪質きわまりない飲酒運転により、あたら若い尊い命と輝く未来が奪われ、一瞬にして幸せな家庭並びに学校生活に深い悲しみをもたらしている。

このような悲しい交通事故を抑止するためには、市民ひとりひとりの交通安全意識の向上や、各関係機関の一層の交通事故抑止に向けた取り組みが必要と思われる。

また、安全な道路環境整備を始め、信号機の設置を含めた交通安全施設の拡充、交通違反者に対する取り締まり、高齢者等、交通弱者に対する安全教育など、総合的な対策をさらに強化していく必要がある。

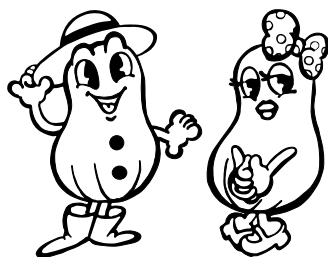
特に、飲酒運転の撲滅のためには、運転者の意識の向上はもとより、家庭や職場、さらには地域が一体となった「飲酒運転は絶対にしない・させない」という強い意志を示すとともに、交通安全意識の普及・啓発の施策を強化させることが重要である。

よって、八街市議会は、関係機関・団体及び市民の皆さんと一体となって、交通事故抑止と飲酒運転撲滅に向けて全力で取り組むものである。

以上、決議するとともに、関係機関に対し要望する。

平成19年5月28日

八街市議会 議長 山本正美、副議長 横田義和、丸山わき子、京増良男、押尾 巖、小川邦夫、小澤定明、会嶋誠治、伊藤高明、右山正美、京増藤江、山本義一、山本邦男、古川宏史、加藤 弘、北村新司、鯨井眞佐子、新宅雅子、中田眞司、川上雄次、湯浅祐徳、小高良則、山口孝弘



ピーちゃん ナッチちゃん

### 主な内容

## 6月定例会

- 提出議案の主な内容 ————— 2 P
- 一般質問(個人10人) ————— 3~12 P
- 委員会 ————— 13 P
- 市民へのメッセージ ————— 14~15 P
- 審議された議案と結果 ————— 16 P



この「市議会だより」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。